

16世紀における複式簿記の風景

土 方 久

「16世紀における複式簿記の風景」を見事に描写する木版画がある。1585年に製作された木版画。標題は『商業の寓話』 („*Allegorie des Handels*“)。彫刻は Amman, Jost, 図案は Neudörfer, Johann によって製作された木版画である¹⁾。画1を参照。

すでに、筆者がこの木版画の断片に出会ったのは、ほぼ40年も前。ドイツ簿記の歴史を克明に跡付ける古典ということで、1913年に Penndorf, Balduin によって出版される著書『簿記の歴史』 („*Geschichte der Buchhaltung*“, Leipzig.) の復刻版を入手してからである。ただの好奇心から入手したにすぎなかったためか、それとも、14世紀、15世紀の商人の帳簿の原文と16世紀の教科書の原文を織り混ぜた難解な文章に、筆者が恐れをなしたためか、この文章を本格的に読むことはなかったが、表紙の標題ばかりか、各章の見出しに飾られる挿し絵の商業活動には、大いに興味を覚えたものである。この挿し絵には、

1) *THE NEW HOLLSTEIN GERMAN ENGRAVINGS, ETCHINGS AND WOODCUTS 1400-1700, JOST AMMAN, PART II*, Rotterdam 2001, p. 80.

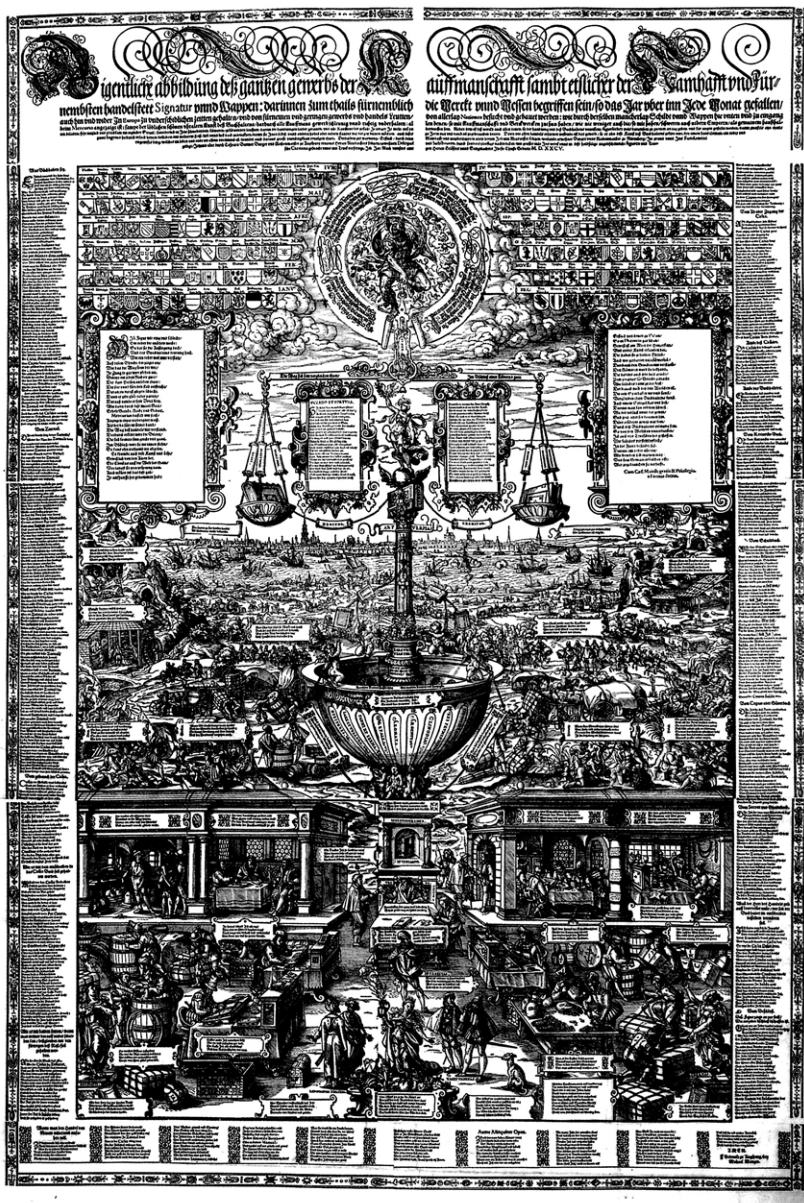
Cf., Yamey, Basil S.; *ART & ACCOUNTING*, New Haven & London 1989, p. 116.

なお、Penndorfによると、この木版画の原画はマイヒンゲンの「ヴァレンシュタイン侯・図書館」(Fürstl. Wallersteinchen Bibliothek in Maihingen) に所蔵されるとのことであるが、現在は不明。

Vgl., Penndorf, Balduin; *Geschichte der Buchhaltung*, Leipzig 1913, S.166.

また、最近の研究によると、19世紀からの復刻には、さらに、木版画の上部と下部の画面、左端と右端の画面の縁取りとして組まれる文章は削除されるとのことである。この木版画の寸法は、縦は89.5cm、横は60.2cm。

Cf., *op. cit* (*THE NEW HOLLSTEIN*…), p. 81/82.



画 1

画像から憶測するに、「帳簿に記録する事務員」²⁾、「金貨、銀貨の金銭を確認して、櫃に収納するか、文書に記録する商人と使用人」³⁾、「帳簿に記録する事務員」⁴⁾、「金貨、銀貨の金銭を確認して、袋に詰め込む商人と使用人」⁵⁾が木版画に組込まれる韻文と共に描写される。しかし、あくまで挿し絵、これが木版画の断片であるとは思ひもしなかったものである。

ところが、筆者がこの木版画に再び出会ったのは、偶然というか、10年ほど前。筆者は19世紀のドイツ簿記に取組み始めたのだが、いつしか「ドイツ簿記の16世紀」にはまってしまい、ことあるごとに参考にしたのが、さらに、16世紀に出版される印刷本の資料を整理して、年表を作成しようと参考にしたのが⁶⁾、1975年に「英国勅許会計士協会」(Institute of Chartered Accounts in England and Wales)によって編纂される目録『会計資料の歴史目録』(*Historical Accounting Literature*, London.)。表紙の裏側、見開き両面の淡い黄色地に装飾として、これまで挿し絵としか思っていなかった画面が印刷される。この画面には、筆者が興味を覚えた挿し絵の商業活動がパノラマのように描写されるのではないか。画面の群像から憶測するに、商人の館に働く商人、事務員、使用人、作業員、飛脚、異国から商業取引に訪れる商人まで、まさに「商人の館」での活況が描写される⁷⁾。機会あるごとに幾度となく、この目録は参考にしたというのに、筆者の注意力が散漫であったためか、これに全く気付かなかったことは不思議といえば不思議である。このスケールの大きい木版画に出会って、筆者は改めて興味を覚えたものである。しかし、表紙の裏側、見開き両面の装飾でしかないためか、木版画の上部の画面、左端と右端の画面は切断、削除される。それだけに、この木版画の全貌を見たい、この

2) Vgl., Penndorf, Balduin; *a. a. O.*, 表紙.

3) Vgl., Penndorf, Balduin; *a. a. O.*, S. 1.

4) Vgl., Penndorf, Balduin; *a. a. O.*, S. 177.

5) Vgl., Penndorf, Balduin; *a. a. O.*, S. 182.

6) 参照, 拙稿; 「ドイツ簿記の16世紀」, 『商学論集』(西南学院大学) 50巻1・2合併号, 2003年9月, 109頁以降。

7) Cf., Institute of Chartered Accounts in England and Wales; *Historical Accounting Literature*, London 1972, 表紙の裏側, 見開きの両面。

木版画に組込まれる「韻文」を読みたいとの想いに駆られたものである。商人の館の活況に加えて、木版画に組込まれる韻文には、商業取引の信条ばかりか、帳簿の記帳技法が示唆されるので、16世紀の商業の風景、はては複式簿記の風景を想像しうる、またとない木版画のようであるからである。そのために、「ドイツ簿記の16世紀」に取り組んでいる筆者としては、まずは、木版画が、何時、誰によって製作されたか、どこに所蔵されるか、どうしても知りたいとの想いを馳せようというものである。

しかし、筆者の日本の研究仲間はもちろん、筆者のドイツの研究仲間、ドイツの大学図書館に問い合わせるなど、八方手は尽くしてみたが、期待するような回答はない。諦めかけたところで、1989年に Yamey, Basil S. によって出版された著書『芸術と会計』(“*ART & ACCOUNTING*”, New Haven & London.) に収録される旨、日本でも入手可能である旨、教示された。まさに燈台もと暗しである。早速に取り寄せて見るに、また、Yamey の解説文⁸⁾を読むに、1585年に、彫刻は Amman, 図案は Neudörfer によって製作された木版画。ドイツはニュルンベルクで製作されたというのに、収録されたのがイギリスの著書であるためか、それとも、「大英博物館」に所蔵される木版画を参考にしたためか、英文の標題の『商業の寓話』(“*Allegory of Commerce*”)である⁹⁾。しかも、この解説文を読んで、さらに、木版画の原画まで捜し求めると、Yamey によって紹介される木版画も、まだ、木版画の上部と下部の画面、左端と右端の画面が切断、削除される。実際には、切断、削除される木版画の上部と下部

8) Cf., Yamey, Basil S.; *op. cit.*, pp. 115-122.

9) しかし、どこに所蔵されるかは、Yamey の解説文には説明されない。想像するに、Yamey の解説文によると、1974年に Pilz, Kurt によって出版される復刻「Jost Amman の工房で製作の商業の寓話」(„*Die Allgorie des Handels aus Werkstaat des Jost Amman*“, in: *Scripta Mercature*, I/II.) に再現された旨、したがって、この木版画の復刻版が出版された旨、注釈されるので、この復刻版から引用して、英語の標題が付されたのかもしれない。

なお、「大英博物館」に所蔵される木版画の目録番号は、[1895-1-22-76]。この木版画の寸法は、縦は114.3cm、横は76.2cm。

Cf., Yamey, Basil S.; *op. cit.*, p. 149.

なお、最近の研究によると、この木版画は、1585年版を初めとして、1610年版、1622年版、1854年より前の版、このような4様の変形された版 (Variant) があるとのことである。

Cf., *op. cit.* (THE NEW HOLLSTEIN…), p. 81.

の画面、左端と右端の画面を見るに、さらに、文章が画面の縁取りとして組込まれる。画1と画3を参照。

このようにして、ほぼ40年の間、筆者が探し求めた木版画にやっと出会ったわけであるが、「商人の館」での活況が描写された画面は、わずか、木版画の下段、3分の1の画面にすぎない。切断、削除された木版画の上部の画面、左端と右端の画面を見るに、さらに、切断、削除される木版画の上部と下部の画面、左端と右端の画面を見るに、どうしてどうして、予想したよりも、実にスケールの大きい木版画の全貌に驚顎を覚えたものである。

そこで、筆者なりに憶測しながら、この木版画の全貌を俯瞰することにする。木版画の上段、3分の1の画面。

画面の中央に、商業と商人の守護神、ギリシア神話の「ヘルメース」(Hermes) ないしローマ神話の「メルクリウス」(Mercurius) が描写される¹⁰⁾。両側はヨーロッパの商業都市の紋章を付された盾で飾られる。守護神の左手に持つのは、2匹の蛇がからまる杖、右手に持つのは、秤となる天秤棒の挺子である。天秤棒は、「貸借平均原理」を示唆する「天秤の両皿が比較されて、均衡する帳簿締切では、間違いはない」(Die Wag sich sein vergleichen thut / Im Bschluss einer Bilanza gut) の標記で飾られる。さらに、天秤棒の左側、秤の皿が繋がれる3本の索ないし鎖に架かるのは、「借方(彼は支払うべし=私に借りている)」(DEBET, DEBET NOBIS, DEBET MIHI) の標記を付される巻軸。この巻軸に繋がれる秤の皿には、1冊の帳簿が載せられる。これに対して、天秤棒の右側、秤の皿が繋がれる3本の索ないし鎖に架かるのは、「貸方(彼は持つべし=私に貸している)」(DEBEO EGO, DEBEMVS NOS, DEBET HABERE) の標記を付される巻軸。この巻軸に繋がれる秤の皿にも、

10) ヘルメース [メルクリウス] はオリュムポス12神の1人 [英語名マーキュリー]。ゼウスを父親とし、アポロンとは異母兄弟になる。神々の使者として、天空、地上、地下を駆けめぐる。2匹の蛇のからまるケーリュケイオン (カドケウス) の杖を手にし、頭には隠れ帽ベタスと呼ばれる旅行帽をかぶる。両足には翼が生えたサンダルを履く。幸運と財宝をもたらす者として通商や貿易の神。才知あふれ発明や学芸を司り、悪しきたくらみと盗みまでも試みる。地下を訪れる者として夢や眠り、死者の靈魂をも運ぶ。参照、水之江有一編著；『ギリシヤ・ローマ神話図詳事典』、北星堂書店 1994年、36頁。

1冊の帳簿が載せられる。両者の皿に繋がれる1本の索ないし鎖が架かるのは、「情況」(CIRCVM STANTLE)の標記が付される標注、噴水の水盤の中心にそそり立つ標柱が支える1冊の帳簿。この帳簿は「仕訳帳」(ZORNAL)の標記を付される。秤の左側の皿に繋がれる索または鎖には、「債務者(借主)」(DEBITOR)の標記を付される巻軸が架かる。これに対して、右側の皿に繋がれる索または鎖には、「債権者(貸主)」(CREDITOR)の標記を付される巻軸が架かる。したがって、秤の両側の皿に載せられる2冊の帳簿は、仕訳帳から転記される「元帳」、木版画に組込まれる韻文から憶測するに、「金銭帳」(Schuldbuch)と「商品帳」(Capus)ではなかろうか。画4を参照。

したがって、木版画の上段、3分の1に描写されるは、帳簿の種類、記録技法から、まさに複式簿記の原理、原則を想像させる画面である。

木版画の中段、3分の1の画面。

画面の上方に、港湾に浮かぶ数隻の船舶、この間を往来する数隻の舢舨、船団を組んで、海路、商業取引に乗り出す光景が描写される。これに対して、画面の下方には、商品を荷樽に詰め込んだり梱包して、荷駄を準備して、馬車に積載する作業員、隊商を組んで、陸路、商業取引に乗り出す光景が描写される。さらに、これを背景に、中央には噴水の水盤。噴水の水盤の側面は、財産の種類、まずは、「現金」(PRESENS PECVIA)に始まり、「債権」(DEBITORES)、「羊毛と紡錘毛」(LANE ET VELLERA)、「毛織物と絹織物」(PANNI ET SERICA)、「果実」(ETALLA)、「香辛料」(AROMATA)、「銀器」(ARGENTEA VASA)、「計量器」(CLINODIA)、「小麦」(RES FRUMENTAR)、「最後に「家財」(MOBILA BONA)の標記を付される。噴水の水盤の縁は、「資本の投下・回収」を示唆する「この噴水から流れ出るのは、この商業の結果(損益)と元金(資本金)」(Aus diesen Brunnen fließen thut / Dess Handels Bedchluss und Hauptgut)の標記で飾られる。画5を参照。

したがって、木版画の中段、3分の1に描写されるは、海路、陸路の商業取引に乗り出す光景と、この商業取引に投下される資本と回収される資本から、まさに複式簿記の背景を想像させる画面である。

木版画の下段、3分の1の画面。

画面の左側には、画像から憶測するに、「商品の目方を計りながら、値踏みする商人」(3人)、「帳簿を前に商談する商人」(3人)、さらに、「荷樽を製作する作業員」(1人)、「荷樽に詰め込まれた商品を取り出す商人と使用人」(2人)、「商品を背に運び出す使用人」(1人)、「帳簿に記録する事務員」(1人)、「文書を作成する事務員」(1人)、計12人の商業活動が描写される。さらに、画面の左端には、商業を守護する女神が描写される。女神の足元は帳簿と「貸借関係」(OBLIGATIO)の標記で飾られる。画6を参照。

画面の中央には、まずは、画面の上方に描写される、「秘密の帳簿」(SECRETORVM LIBER)の標記を付される収納庫に、「財産目録」(INVENTATIUM)の標記を付される帳簿が保管される。さらに、画像から憶測するに、「商業書簡か手形書簡を事務員に手渡す飛脚」(1人)、「財産目録を背に商業書簡か手形書簡を受取る商人」(1人)、「文書に記録する事務員」(1人)、「商業書簡か手形書簡を持参する飛脚」(1人)、「商業書簡か手形書簡を使用人に手渡す飛脚」(1人)、「飛脚を出迎える使用人」(1人)、さらに、「異国から商業取引に訪れる商人」(1人、2人、2人)、計11人の商業活動が描写される。異国から商業取引に訪れる商人の脇腹、足元は、商業取引の信条なのか、「誠実」(INTEGRITAS)、「語学力」(LINGVARVM PERITIA)、「慎重」(TACITVRNITAS)の標記で飾られる。画面の下方に描写される、足元は財宝に囲まれて王冠を戴く女神は「商業の繁盛」を象徴する。画7を参照。

画面の右側には、これまた、画像から憶測するに、「金貨、銀貨の金銭を確認して、櫃に収納するか、文書に記録する商人と使用人」(5人)、「宝石、貴石の財宝を前に帳簿に記録する商人と使用人」(2人)、さらに、「帳簿に記録する事務員」(1人)、「金貨、銀貨の金銭を確認して、袋に詰め込む商人と使用人」(2人)、「荷樽を押印する作業員」(1人)、「荷造りのために梱包する作業員」(3人)、計14人の商業活動が描写される。さらに、画面の左側の左端と対照的に、画面の右端には、これまた、商業を守護する女神が描写される。女神の足元は帳簿と「自由」(LIBERTAS)の標記で飾られる。画8を参照。

したがって、木版画の下段、3分の1に描写されるは、「商人の館」で働く計37人もの商人、事務員、使用人、作業員、飛脚、異国から商業取引に訪れる商

人まで、まさに商人の館での商業活動から、まさに複式簿記の現場を想像させる画面である。

このように、木版画の全貌を俯瞰するに、16世紀における商業の風景、はては複式簿記の風景を想像するのに、またとない木版画である。商人の館での商業活動を想像させるだけではなく、複式簿記の原理、原則、複式簿記の背景、さらに、複式簿記の現場を想像させる画面、まさに16世紀における複式簿記の風景を見事に描写する木版画である。

そこで、筆者が取組んでいる「ドイツ簿記の16世紀」をより馴染み易いものにするために、「16世紀における複式簿記の風景」として、まずは、Yamey の解説文、「木版画の解説文」を紹介することにしたい。さらに、木版画の下端、3分の1の画面、商人の館に組込まれる韻文、「木版画に組込まれる韻文」だけでも紹介することにしたい。

1. 木版画の解説文

1585年に1枚の大きな木版画『商業の寓話』の初刷りが製作された。彫刻は Amman (1539-1591年)、版画の名人であって、ステンドグラスの窓デザイナーであった。彼はスイスに生まれたが、仕事をしたのは主にニュールンベルクであった。しかしながら、寓話の凶案は Neudörfer (1497-1563年)、職業芸術と会計に様々な方法で取組んだ父親のほうの Neudörfer に依存する。

Neudörfer は毛皮商人の息子、ニュールンベルクの私立商業学校を経営した。彼は「工芸デザイナー」として知られたものである。読み書き、算術、簿記を教えた。Amberger, Cristoff の製作した肖像画、その画題である Schwarz, Matthäus は彼の息子を Neudörfer の経営する専門学校に入学させた。Neufchatel, Nicolas によって描出される絵画はこの教師を彼の息子と一緒に描写する [画 2]。2人の姿と多面体が描写されることは、いくらか Pacioli, Luca の有名な肖像画を想起させる。

Neudörfer は、芸術史に、特に3つの点で知られる。「数世紀後の間にドイ

ツの規格となる亀の子字体をデザインするのに、彼は指導的な役割りを果たした」。Dürer, Albrecht によって発表された作品の書体は、Neudörfer によってデザインされた髭文字で印刷された¹¹⁾。第2に、彼の本職である書家の才能で、Neudörfer は、Dürer が製作した『4人の使徒』(The Four Apostles) と呼ばれる、世によく知られた1対の絵画の部分に張られた細長い平板に銘文を刻んだ(このような画題にもかかわらず、4人のうち1人、マルコは福音伝導者。使徒ではなかった)。Dürer は4人の聖者の著述からの引用句で作成される銘文を選んでいる。引用句は、この絵画が献納された都市、ニュルンベルクの統治者が「神の福音を誤って導く人間の解釈は受入れる」¹²⁾ ことのないように、この統治者に対するの警句として役立てられえた。第3に、Neudörfer は芸術の初期の史家として際立っている。彼は1547年に『芸術家と職人からの報告』(„*Nachrichten von Künstlern und Werkleuten*“) という短い手書本



画2 (所蔵は Alte Pinakothek in Munich)

者。使徒ではなかった)。Dürer は4人の聖者の著述からの引用句で作成される銘文を選んでいる。引用句は、この絵画が献納された都市、ニュルンベルクの統治者が「神の福音を誤って導く人間の解釈は受入れる」¹²⁾ ことのないように、この統治者に対するの警句として役立てられえた。第3に、Neudörfer は芸術の初期の史家として際立っている。彼は1547年に『芸術家と職人からの報告』(„*Nachrichten von Künstlern und Werkleuten*“) という短い手書本

11) Baxandall, Michael; *The Limewood Sculptors of Renaissance Germany*, New Haven and London 1980, p. 148.,
von der Ostern, Gert and Vey, Horst; *Painting and Sculpture in Germany and the Netherlands, 1500-1600*, London 1969, p. 310.

12) Saxl, Fritz; *Lectures, The Warburg Institute*, London, 1957, pp. 275-276.

を執筆した。これには、Dürer、彼以外の芸術家の情報も書かれている。Neudörfer は、彼より前のPacioloとDürerのように、ローマ字体を幾何学的に組立てるルネッサンスの「秘事」に没頭したことが付言されるかもしれない。

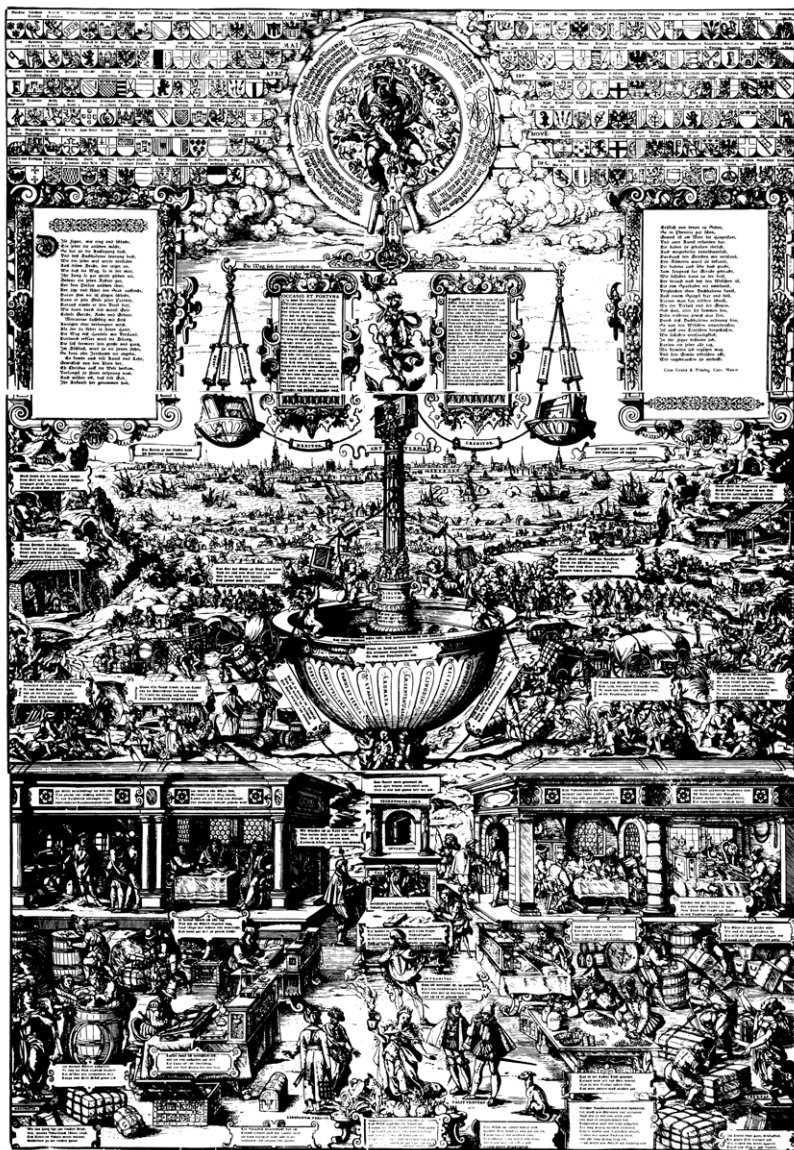
簿記について現存する手書本は、ほぼ確実にNeudörferによって作成されたものである。想像するに、彼の学校で使用するためであったであろう。写本は現存しないにもかかわらず、簿記について、彼が1冊または数冊の著書を出版したであろうことは、大いにありそうでもある。簿記についての彼の教えは、少なくとも2冊の、後のドイツの著作に影響を及ぼした¹³⁾。

NeudörferとAmmanの『商業の寓話』は6枚の版本から印刷された大作である〔画3〕。多くの人々の姿と飾り模様で満たされて、韻文が巻軸と画板に埋められる。

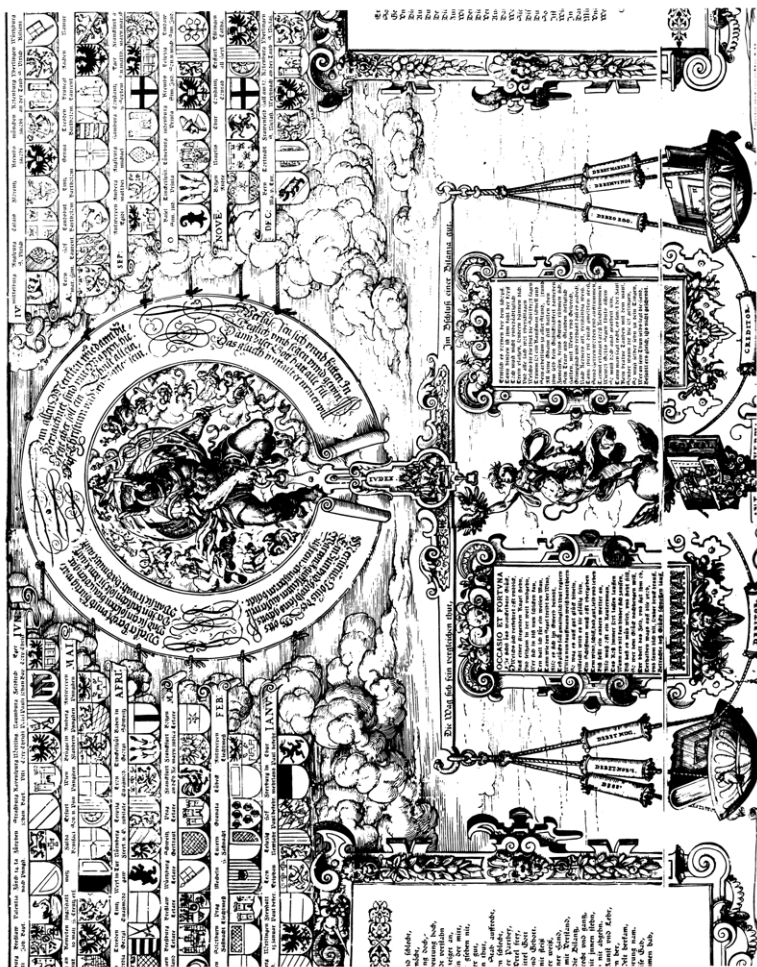
木版画の上の部分、3分の2にあたる主な部分は複雑である〔画4〕。商業と商人の守護神であるマーキュリー*は12宮図の標識*に囲まれて描写される。彼は右手に大きな天秤(balance)(1対の秤)を持つ。天秤のそれぞれの皿は1冊の大きな帳簿を載せる。2つの皿は、標柱の中心部分に載せる、これとは別の帳簿、「仕訳帳」と記された帳簿に繋がる。これを繋ぐ2本の鎖ないし索は、左側と右側にそれぞれ「債務者(借主)」と「債権者(貸主)」という言葉の書かれた巻軸を掲げる。天秤棒に対して、それぞれの皿を繋ぐ索には、3本の巻軸が架かる。左手(すなわち、借方側)の巻軸は、「借方(彼は支払うべし=私に借りている)」と記される。想像するに、元帳の借方側に記録するための技法を意図するのであろう。「貸方(彼は持つべし=私に貸している)」という言葉は、これとは別の組の索(すなわち、貸方側)に記される。天秤棒は、平衡することで、以下のような銘文を記している。「天秤の両皿が比較されて、均衡する帳簿締切では、間違いはない」と。

13) Penndorf, Balduin; a. a. O. S. 158 (-166).

Yamey, Basil S.; *Fifteenth and Sixteenth Century Manuscripts on the Art of Bookkeeping*, in: *Journal of Accounting Research*, V(1967), pp. 60-61., *Essays on the History of Accounting*, New York 1978. に再録。



画3 (木版画の全貌)



画4 (木版画の上段, 3分の1の画面)

*Mercury：ローマ神話、メルクリウス、マーキュリー、神々の使いの神で、雄弁・職人・商人・盗賊の守護神。ギリシャ神話のHermesに当たる（『新英和大辞典』、研究社）。

*signs of the zodiac：〔天文・占星〕黄道12宮〔南北に各幅約8度で黄道に沿い、これを12等分したもの〕。次の各宮がある。Aries（おひつじ座、白羊宮）、Taurus（おうし座、金牛宮）、Gemini（ふたご座、双子宮）、Cancer（かに座、巨蟹宮）、Leo（しし座、獅子宮）、Virgo（おとめ座、処女宮）、Libra（てんびん座、天秤宮）、Scorpio（さそり座、天蝎宮）、Sagittarius（いて座、人馬宮）、Capricorn（やぎ座、磨羯宮）、Aquarius（みずがめ座、宝瓶宮）、Pisces（うお座、双魚宮）（『新英和大辞典』、研究社）。

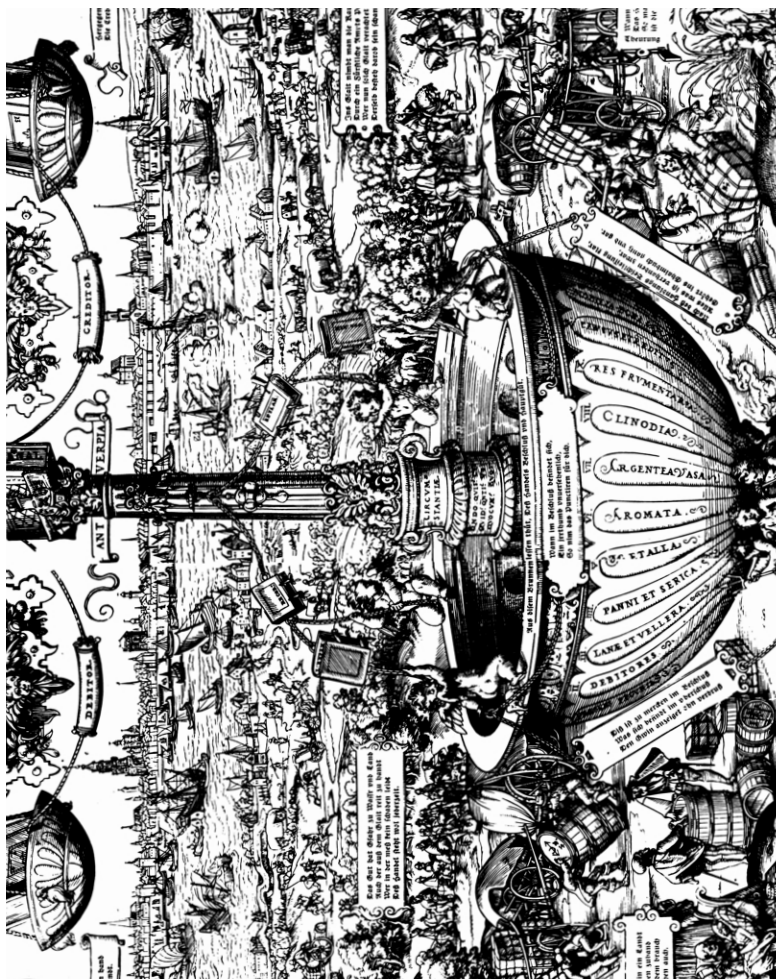
「仕訳帳」という帳簿が支えるのは有翼の球体。この球体には、運命の女神の姿が立つ。彼女は、一方の片手に1対の翼、他方の片手には亀の甲を持つ。de Tervarent, Guy が言う諺、経営するのに思案しながら行動するには、「急がば回れ」（Elle entend dire qu'en matière de commerce la fortune appartient aux modérés）という美德を象徴する¹⁴⁾。そのように想像されるのは、直接的にも間接的にも、1499年にヴェニスで最初に出版された著書、Colonna, Francesco の著書『ポリフィエロの夢』（“*Hypnerotomachia Poliphili*”, Venezia.）に書き添えられる象形文字に類似した表現からである¹⁵⁾。

情況の標柱は噴水の水盤の内側にそそり立つ〔画5〕。水盤の縁には、この噴水から取引の結果（損益）と元本（資本金）が流れ出ることを伝える以下のような言葉が書かれる。「この噴水から流れ出るのは、この取引の結果（損益）と元本（資本金）である」と。水盤の外側は、1枚1枚に財産の標題を記される画板で配列される。「現金」で始まり、「家財」で終わる。アントワープの光景は噴水の背後に繰り広げられる。多くの活動が描写される。商品の荷を積んだり荷を降ろしたり、商品によっては、盗まれてもいる。船舶の数隻は荒れ狂うスケルデ川*に浮かぶ。1隻は難破している。商人は多くの危険を冒して、幸運の天恵を求める。商人は慎重に注意を払いながらも、大胆に彼の業務を運営しなければならない。

Scheld：北フランスに発し、ベルギー西部とオランダ南西部を流れ、北海に注ぐ川（『新英和大辞典』、研究社）。

14) de Tervarent, Guy; *Attributs et symboles dans l'art profane, 1540-1600*, Genova 1958, col. 9.

15) Volkman, Ludwig; *Bilderschriften der Renaissance*, Leipzig 1923, S. 100.



画5 (木版画の中段, 3分の1の画面)

アントワープが取引都市としても世界商業の中心地としても重要であったので、この「寓話」に最適の場所として選ばれたことは間違いない（「取引所」の正面には、「あらゆる国々の商人、あらゆる言葉を話す商人の奉仕のために」という誇りげな碑文が書かれていた）。マーキュリーの姿の側面には、ヨーロッパの主な商業都市の紋章を付された盾が埋め尽くすように配列される。ロンドンの盾は、マーキュリーの右の5番目の列、左から6番目である。

木版画の下の部分はそのほど複雑ではない。ほとんどの場面に、商人と、机に付き椅子に座って働く事務員と帳簿の記録者、さらに、商品を荷造りしたり出荷したりする作業員が描写される〔画6、画7および画8〕。会計帳簿がはっきりと描写される。下部の区画の上の部分、中央の記事は、聖櫃のたぐいである〔画7〕。「秘密の帳簿」という言葉は、聖櫃に収納される会計帳簿を意味する。秘密の元帳は、商人が、彼自身と、想像するに、彼の帳簿の記録者だけの秘密にしておきたい元帳勘定を備付けるであろう帳簿であった。画板の、壁龕の上の部分に書かれる言葉は以下のとおりである。

秘密の帳簿と私は呼ばれる。

私の主人は、ほかの誰にも私をまかせない。

彼は実状を自分の秘密にするのだから。

木版画の下の部分には、男性のいくつかの姿が「語学力」、「誠実」と「慎重」を象徴する。王冠を戴いた女性の姿は球体に立つ。彼女は商業の成功を象徴する。球体は繁盛ないし幸運のために立つ。世俗の富は、球体の回りに散在する楽器、小像、錢袋、王冠、王勺、宝珠、刀剣で例えられる。頭蓋骨は、あらゆることに終末をもたらす死という陰惨な暗示である。女性が右手に持つ花瓶は煙を放つ。それは命の消えやすいはかなさを象徴する¹⁶⁾。そこで、韻文は以下のように書く。「敬虔であれ。神を恐れ悔い改めよ」と。

16) de Tervarent, Guy; *op. cit.*, col. 399., 'Vase dont émane une fumée'.



画6 (木版画の下段, 3分の1の画面, 画面の左側)



画7 (木版画の下段, 3分の1の画面, 画面の中央)



图8 (木版画の下段, 3分の1の画面, 画面の右側)

飾り枠の内には、韻文が隅々まで書き込まれる。ほとんどは簿記についての題材、Neudörfer の手書本からの1節、旨くはない詩文で書かれた題材である。この簿記の韻文を耳触り良くしたのは、ニュルンベルクの算術教師、Brinner, Casper のおかげである。1つの例は、商人の大きな荷印を押された樽の上にある飾り枠の内に書かれる韻文で十分である [画8]。

仕訳帳から金銭帳に、
さらに、商品帳に私は記録する。
左手には債務者（借主）を、
右手には債権者（貸主）を¹⁷⁾。

いくつかの韻文は商人に対する忠告である。たとえば、飼い犬の下にある韻文 (画7) は、取引に成功したい商人が、あまりに多くの外貨を受取ってはならないこと、長期間に亘る債権または債務を持つてはならないこと、不良債権を回避するように、特に注意しなければならないことを読者に忠告する。

『商業の寓話』は、ほとんどが簿記の技法——易しく学べる簿記についての韻文で書かれた解説であった。早期に出版された木版画の改作のいくつかには、簿記の多様な役割について一連の韻文で書かれた三面の縁取りがあった。これらの韻文は Brinner によっても作成されていた。漠然ではあるが、Neudörfer の手書本に依拠する（ここに復刻されるのは19世紀の木版画。19世紀の印刷本からは、この縁取りが省略される）¹⁸⁾。

木版画の利用者は、Amman の興味深く詳細に描写された挿し絵の魅力によ

17) 元帳を二様の帳簿、一方に「金銭帳」(Schuldbuch)、他方に「商品帳」(Capus または Kaps) に分割することは、16世紀のドイツに明確に普及した実務であった。

18) 『寓話』の原画である木版画からの、1878年にミュンヘンで発表された Huttler, Max の復刻に対する序文を参照。この出版には、韻文の原文はあるが、木版画自体の部分としては印刷されない。

Pilz, Kurt の作品は、Fox, Celina 博士が注意してくれたが、世に知られた木版画の出版を変形して描写する。Pilz は木版画の詳細も描写する。出版の歴史、縁取りに組込まれる韻文の書写、木版画のなかの韻文も描写する。

Pilz, Kurt; *Die Allegorie des Handels aus dem Werkstatt des Jobst Amman*, in: *Scripta Mercaturae*, I/II (1974), S. 25 (-60).

って、Brinner によって書かれた韻文を研究することからは、うまく注意をそらされるかもしれない。しかし、少なくとも、簿記の様相、すなわち、簿記と天秤の間の類似性に関わる様相、木版画の上の部分を支配する記事は十分に理解されるであろう。

複式簿記のシステムでは、すべての取引ないし事象が適当な元帳の借方と貸方で均等に記録される。借方記録の合計は、常時、貸方記録の合計と均等であらねばならないことになる。この借方と貸方の均等性 (equality) ないし均衡性 (balance) は、複式記録のシステムについて最初に出版された解説書の著者、Paciolo によって強調された。彼が書いたのは、1つ1つの取引に対する借方記録と貸方記録を均等にすることによって、元帳でのすべての記録は、常時、相互に連係されて、どれだけの記録があろうとも、常時、均衡するということである¹⁹⁾。すべての借方記録の合計とすべての貸方記録の合計の間に保持しておく均等性は、借方残高を記録するすべての元帳勘定の残高の合計と貸方残高を記録するすべての元帳勘定の残高の合計の間にも保持しておく必要はないことになる。

Amman の木版画では、マーキュリーは「債務者 (借主)」と「債権者 (貸主)」を均衡にする秤を持つ。天秤棒の上にかかれる言葉と、いくつかの韻文からは、Neudörfer と Amman が複式簿記で元帳を間違いなく備付けるのに必要な均等性ないし均衡性を説明しようとしたことは明白である。帳簿が締切られる場合に、何度も読者に語られるのは、元帳が均衡にならないようであるとしたら、帳簿は間違っているにちがいないということである。Dafforne, Richard は1635年の彼の著書『商人の鏡』(“*The Merchants Mirrour*”, London) で以下のように書いた。

「真の天秤の一方が他方よりも重くあってはならないので、真の全体の均衡は、記録される最小の価額といえども食い違ってはならない。全体の債務者 (借主) に対しては、全体の債権者 (貸主) が、まさに双方同額で記録して平衡させねばならない。そうでないなら、帳簿は不正確、合計は間違いであるか、

19) Pacioli, Luca; *Summa de Arithmetica* ···, Venezia 1494, Cap. 14.

誤って加算されるかである」²⁰⁾と。

しかしながら、簿記と天秤の間の、これとは別の類似性は、原画である木版画の縁取りに書き込まれる韻文の一つに暗示される。ここでは、その類似性は元帳での個々の勘定に関わるものである。まさに、目方または価額を秤に架けたときに、均衡した天秤になるように、勘定はその軽いほうの側に記録を加えることによって、均衡になることを意味する。記録を均衡にすることは勘定の「均衡性」の証拠である（イタリア人が「締切残高」(Saldo)と呼ぶものである)²¹⁾。このような見解は、スコットランドで出版された簿記の最初の著書、1683年のColinson, Robertの著書『合理性の知識』(“*Idea Rationaria*”, Edinburgh.)に見事に以下のように書かれる。

「簿記の技法は、商業の、まさに秤である。日常、何らかの事物または商品の目方を計るのと同様に、目方が一方の秤に積まれる。平衡錘が均等になることで、両者が平衡になるまでは、これらの事物は、さらに、他方の秤に積まれる・・・²²⁾。事物が他方の秤の平衡目盛りに達しないとしたら、両者が均等になるまで、軽いほうの秤にいくらかの重さを加えるのが普通である。したがって、借方の頁(半丁)、貸方の頁(半丁)のどちらかが重いなら、ヨリ少ない勘定の最後に、新たな記事(記録)に書き加えて、別の頁(半丁)の差額に対して均等にする。ありとあらゆるなかで、均衡性と呼ばれる良き理由からである。最後に書き加えられた記事(記録)によって両者の頁(両丁)の価額の相違は間違いなく調整されるだけでなく、どちらかの会計係²³⁾によって負担されるべき金額は相互に完全に確認される」²⁴⁾と。

20) Dafforne, Richard; *The Merchants Mirrour*, London 1635, p. 46.

21) このような見解はSchwarzの手書本に見出されうる。

Weitnauer, Alfred; *Venezianischer Handel der Fugger nach der Musterbuchhaltung des Matthäus Schwarz*, München und Leipzig 1931, S. 181.

Neudörferもこれ以外のSchwarzの思考を引き継いだ。

22) 「頁」(半丁)の典拠は、元帳を開始する左側の頁(半丁)が借方記録、右側の頁(半丁)が貸方記録に使用されるように、元帳は、しばしば整理されたという事実によって説明される。

23) 「会計係」という用語は、ここでは、勘定の備付けを必要とする取引関係を持った商人、そのような人々に適用される。

24) Colinson, Robert; *Idea rationaria*・・・, Edinburgh 1683, preface.

2. 木版画に組込まれる韻文

① ここで、最後に相談されるのは、何が秘密のことで、何が重要なことであるか。
これは鉱山業に関係するし、商業の世界に役立つことでもある。

② ここで、あらゆる商品が貯えられる。きちんと天秤の秤に架けるなら、これによって、誰もが商品の目方を知るし、誰もがごまかされることはない。

③ 仕訳帳に、日々、私は記録する。事業に発生するであろうことを。詳しく通知して報告する。これは納得させるのに使われる。



⑤ 金庫番を私は務めねばならない。受取るものと支払うものについて。金銭を私はしばしば計算して、残りはせっせと自分に蓄える。

④ ここで、商品が売切れてしまうなら、定期市が我にたっぷり供給してくれる。商品を我は手元に持っておきたい。そのために、神よ、我に幸運を与え賜え。

⑥ 心臓が左の胸にあるように、金銭帳が開設されると、借主の債務は確認されて、左手に記録される。

⑦ 言葉の知識を私は持っている。そのために、商業も私を必要とする。この知識によって、私はあらゆる商品をまともに仕入れる。損害や危険を被らずに売上げる。

⑧ 秘密の帳簿と、私は呼ばれる。
私の主人は、ほかの誰にも私をまかせない。
彼は実状を自分の秘密にするのだから。

⑩ 理性的であれ。まったく慎重であれ。
そうであれば、商業で多くの利益を生み出す。

⑨ 商業書簡をたずさえて、私は国を旅する。
これに何が書いてあるか、私は知らない。
しかし、私はしばしば私の主人を、
これによって愉快にするし、不機嫌にも弱気にもする。

⑪ 商業はそのような人を求めている。
商業には誠実に、
言葉と仕事によく気配りして、
言行もまた一致するような人を。



⑫ 管理する多くことを信用してまかせられる。
自分が知ることを口外してはならない。
私を信用して多くのことをませられるのだから。
私はこれをまったく秘密にしておくのだから。

⑬ 成功を現しているのは、ここで、球体。
これに載っかる世界に富はある。
壊れやすくて、すばやく受取られる富。
あらゆることが死で終わる富。
そうだから、ほんとうにはかないものである。
敬虔であれ。神を恐れ悔い改めよ。

⑭ 商業で成功しようとする誰もが、
外貨を多く受取ろうとはしない。
これが長い間に生み出させることのないのは、
銀行に預けないならばの利息である。
高い債権については、彼は
あらかじめ用心しなければならない。

⑮ ここで、描かれるのは事務室。
下方に描かれる金庫番が管理するのは、
何をわずかに支払い、何を普通に支払
うかである。
この事務室によって、ことはうまく運
んでいる。

⑯ ここで徹底して記録されるのは、
あらゆる宝石と貴石。
そのために、嘲笑するであろうのはか
なりの人。
それは、商業を誠実に運営するよう
な人である。

⑰ 仕訳帳から私は金銭帳と、
商品帳に記録する。
左手には借主を、
右手には貸主を記録する。

⑰ かなりの人が大いに気遣い苦勞する。
自分の商品について。彼は、
自分の活動が間違いないことはないのだから。
簿記には熟練していないのだから。



⑲ 商品。それは、大いに苦勞して、
定期市に備えて貯える商品。
神よ。幸運をもたらし賜え。
これから、多くの利益を得る。

⑳ これは金庫番の机と呼ばれる。
ここで、人はすばやく金銭を支払い、
商業手形にあたるものは、
これとは別にうまく支払わねばならない。

⑳ 商人のように商業しようとする誰もが、
自分の利益と損失は知ることがない。
まさしく彼はこの利益と損失をどのよ
うに知るか、
彼は何を受取らねばならないか、
何を支払わねばならないか、
これについて、しっかり注意してほしい。
これを彼は紙切れに書き込まないで、
自分の帳簿に書き留めて、
あらゆることをせせせと記録する。
そうしなければ、自分の事業は存続し
ないのだから。

㉑ 貸し借りには、まったく入念に
相手の項目を明記する。
ここで、そのような項目がどのように
現れるかを。
天秤は秤の均衡によって、残高が計算
される。

なお、木版画に組込まれる韻文は判読しにくいので、この韻文の原文を表示することにする。

- ① Hie wrdt berathschlagt an dem end,
Was ghaim und wichtig sachen send,
so das Berwerk anlagen thut,
und kommt der Kauffmanschaft zu gut.
- ② Hie werden alle Güter sein,
Geordnet in die Wag hinein,
Damit ein jeder wist sein Gewicht,
und niemandt unrecht gschehe nicht.
- ③ In Zornal schreib ich alle tag,
Was sich im Gwerb gegeben mag,
Nach längs mit bschaid und underricht,
Das dient gar wol zu gutem bricht.
- ④ Hie werden Güter außgelert,
So uns die Meß rechlich beschert
Die wöllen wir verhandlen wol,
Darzu uns Gott Glück geben soll.
- ⑤ Cassier amt ich verrichten soll,
mit ein und aißgeben gar wol,
Die cassa ich oft überschlag,
und den Rest fleißig bey mir trag.
- ⑥ Wie das hertz ligt linken Brust,
Also, wanns Schuldbuch öffnen thust,
Deß Debtors Schuld wirdt bekindt,
Geschriben zu der lincken handt.
- ⑦ Der Sprachen wissenschaft hab ich,
Drumb fordert auch der Handel mich,
Ich kauff dardurch recht alle Wahr,
vertreibe ohn schaden und gefahr.

- ⑧ Das Secret werd genennet ich
mein Herr keinem vertrawet mich,
Weil er sein Sach ghaim helt bey sich.
- ⑨ Mit Brieffen ich zu Land her raiß
Was darinn steht ich gar nicht weiß,
Aber oft ich mein Herren mach,
Dardurch frölich, auch saur und schwach.
- ⑩ verünffig sein gantz wol bedächtig
Schafft grossn nutz im handel mächtig.
- ⑪ Der handel begert solche Leuth.
Bey denen sey Aufrichtigkeit
in Wort unnd werck dz wol vernimm
Auch Hertz und Mund zusammen stimm.
- ⑫ Dem vil vertrawt ist, zu verwalten,
der solts verschwiegen, bey sich halten,
Weil nun mir ist befolhen vil,
Halt ich es in gehaim subtil.
- ⑬ Das Glück zeigt hie die Kugel an
Darauff der Welt Reichthumb thut stahn
Das bricht gar bald, und nimbt behend,
mit dem Todt hie all Ding ein end.
Drumb nim deß rauchs war mit dem wind
Sey from sucht Gott zur Buß dich findt.
- ⑭ Wer Glück im Handel haben will,
Frembt Gelt nemb er auff sich nit vil,
Darzu laß er nit wachsen lang,
Den intereß, sonst wirdt ihm bang,
Für bösen schulden soll er sich,
Vorauß hüten fürsichtiglich.

- ⑮ Diese Schreibstuben nie benamt,
verwalt das under Cassier ampt,
Was ring und gmaine außgab sein,
Wirdt durch diese verricht gar sein.
- ⑯ Hie wirdt grundtlich beschriben sein,
Alle Kleinoter und Edelgstein,
Damit mancher berlachet wirdt,
Der disen handel weißlich fuhr.
- ⑰ mancher hat große sorg und mühe,
Bey seinem Gut, die weil er nie,
Sein Thun hat bracht zur Richtigkeit,
in deß Buchhaltens gschicklichkeit.
- ⑱ Auß dem Zornal ins Schuldbuch sein,
Darzu ins Capus trag ich ein
Zur lincken hand den Debitor
Zur rechten ghört der Creditor.
- ⑲ Die Güter so mit grosser müh
Wir auff die meß zurichten hie
Die wöll Gott glücklich bringen hin
Darauß erfolgt vil nutz und gwin.
- ⑳ Das ist der Caßier Tisch genennt,
Darauff man zelt das Gelt behent,
Was in den Wechsel fallen thut,
Daß man andern muß machen gut.
- ㉑ Welcher Kauffmannsweiß will handieren,
Nit waiß Gwinnen und verlieren,
Auch wie er mit jeden stah,
und was er einzunehmen hat,
Deßgleichen auch mit seim außgeben
Der mag flessig mercken darneben,
Daß er nichts auff Scartecken schreib,

Sonder bey seinen Büchern bleib,
und alle Ding fleißig trag ein,
Sonst wirdt sein Gerb nit beständig sein.

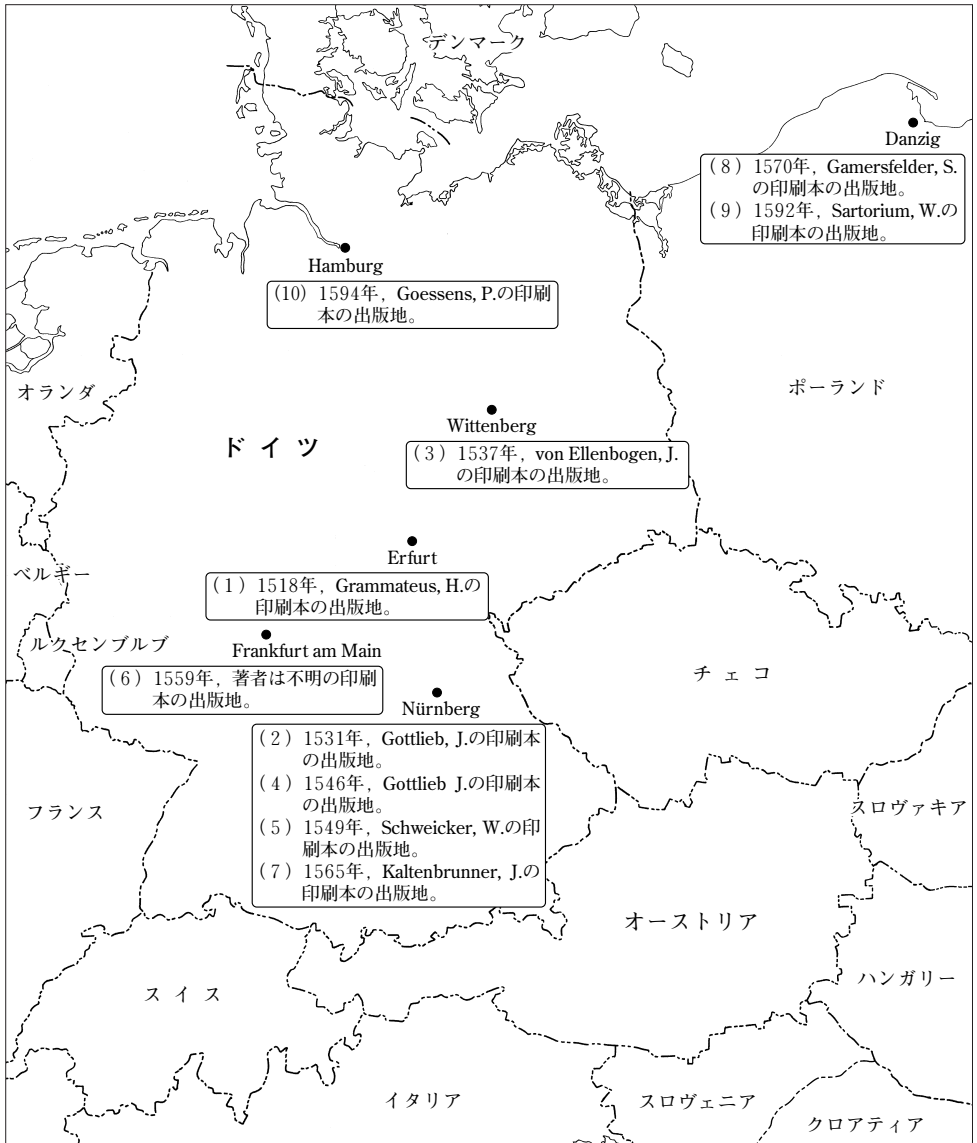
- 22) Im Credit thut gantz fleißigklich,
Die gegen Post erzeigen sich,
Wie solches hie wirdt figurirt
Durch diese Wag so sich Saldirt.

最後に、商業と商人の守護神の両側が商業都市の紋章を付された盾で飾られるように、商業都市の風景も想像しえたらということで、複式簿記について、16世紀に出版された印刷本²⁵⁾、この印刷本の出版地である「商業都市の鳥瞰図」²⁶⁾だけでも紹介することにしたい。さらに、出版地の市街の鳥瞰図から商業都市の風景も想像するとしたら、「ドイツ簿記の16世紀」をヨリ馴染み易いものにするにちがいない。

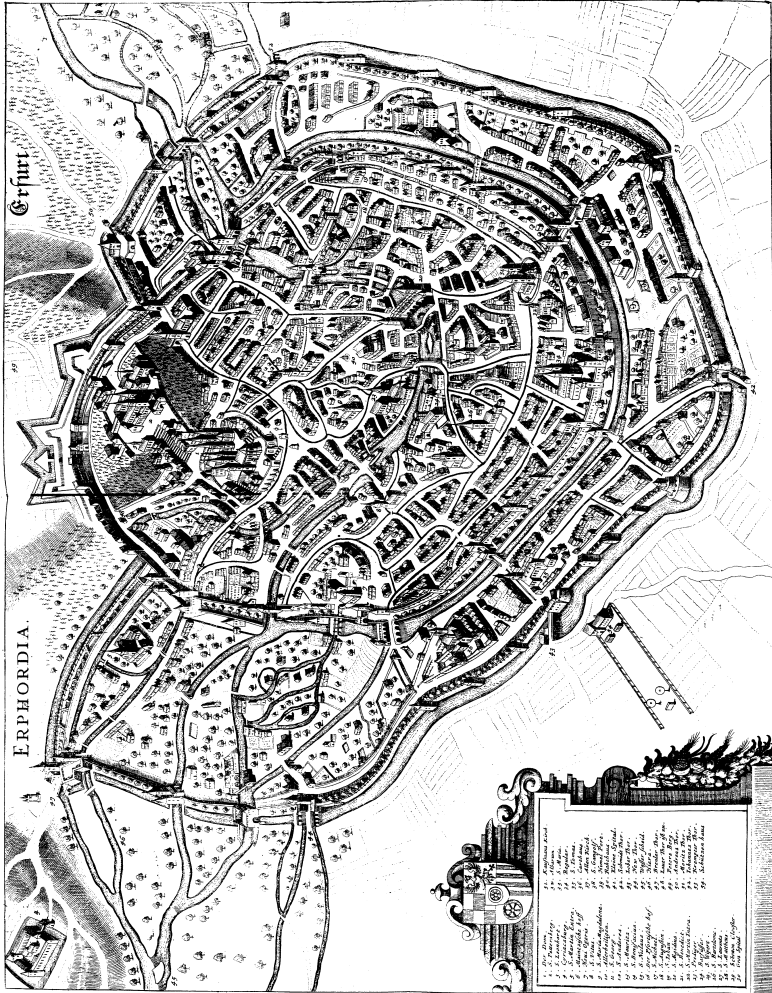
25) Vgl., Grammateus, Henricus; *Ayn new kunstch Buech* ···, Erfurt 1518.
Vgl., Gottlieb, Johann; *Ein Teutsch verstendig Buchhalten* ···, Nürnberg 1531.
Vgl., von Ellenbogen, Johann; *Buchhalten auff Preussische müntze und gewicht* ···, Wittenberg 1537.
Vgl., Gottlieb Johann; *Buchhalten, Zwey künstliche vnnd verstendige Buchhalten* ···, Nürnberg 1546.
Vgl., Schweicker, Wolfgang; *Zwifach Buchhalten* ···, Nürnberg 1549.
Vgl., 著者は不明; *Vndterricht eines ganzen Handelbuchs* ···, Frankfurt am Main 1559.
Vgl., Kaltenbrunner, Jacob; *Ein newgestell kunstlich Rechenbüchlein* ···, Nürnberg 1565.
Vgl., Gamersfelder, Sebastian; *Buchhalten Durch zwey Bücher nach Italianischer Art und Weise*, Danzig 1570.
Vgl., Sartorium, Wolfgangum; *Buchhalten mit zwey Büchern / nach Preussicher Müntze / Maß vnnd Gewichte*, Danzig 1592.
Vgl., Goessens, Passchier; *Buchhalten fein kurtz zusammen gefasst und begriffen* ···, Hamburg 1594.

26) ドイツ都市地図刊行会編; 『近代ドイツ都市地図集成 1572-1960』, 遊子館 2000年, No. 26/79/98/29/106/41。

なお、ここに紹介する商業都市の鳥瞰図は、17世紀、18世紀の鳥瞰図ではあるが、商業都市の風景を想像するのに、それほど支障がないのではと思われる。



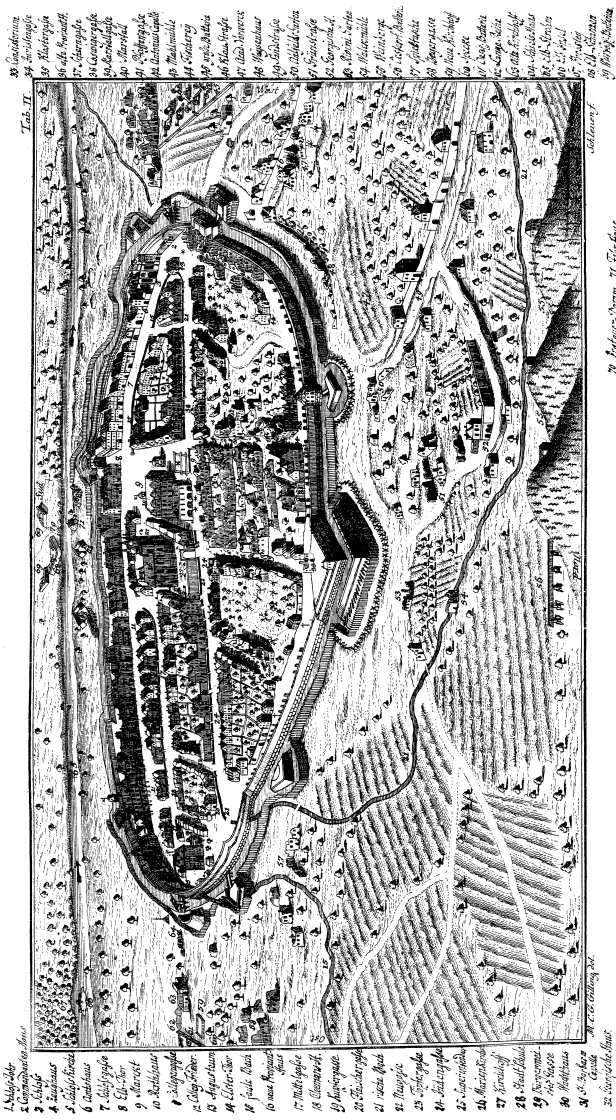
現 ドイツ地図と印刷本の出版地。



エルフルト (Erfurt), 製作年は1657年。



ニユルンベルク (Nürnberg), 製作年は1657年。



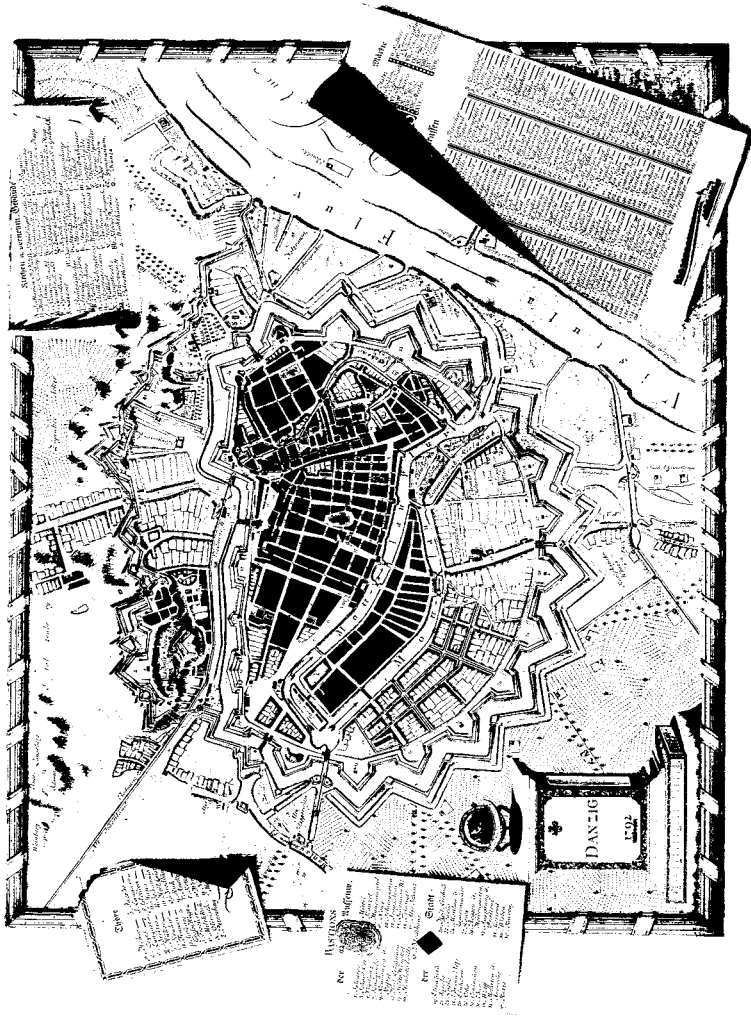
1. Schloß
2. Garnison
3. Hauptmann
4. Hauptmann
5. Hauptmann
6. Hauptmann
7. Hauptmann
8. Hauptmann
9. Hauptmann
10. Hauptmann
11. Hauptmann
12. Hauptmann
13. Hauptmann
14. Hauptmann
15. Hauptmann
16. Hauptmann
17. Hauptmann
18. Hauptmann
19. Hauptmann
20. Hauptmann
21. Hauptmann
22. Hauptmann
23. Hauptmann
24. Hauptmann
25. Hauptmann
26. Hauptmann
27. Hauptmann
28. Hauptmann
29. Hauptmann
30. Hauptmann
31. Hauptmann
32. Hauptmann

33. Hauptmann
34. Hauptmann
35. Hauptmann
36. Hauptmann
37. Hauptmann
38. Hauptmann
39. Hauptmann
40. Hauptmann
41. Hauptmann
42. Hauptmann
43. Hauptmann
44. Hauptmann
45. Hauptmann
46. Hauptmann
47. Hauptmann
48. Hauptmann
49. Hauptmann
50. Hauptmann
51. Hauptmann
52. Hauptmann

ガイッテンベルク (Wittenberg), 製作年は1720年。



フランクフルト・アム・マイン (Frankfurt am Main), 製作年は1680年。



ダンチヒ (Danzig), 現 ポーランド領のグダニスク (Gdanisk), 製作年は1792年。



ハンブルク (Hamburg), 製作年は1644年。